〔指定管理者制度導入施設〕〔A調書〕

事業評価調書〔途中評価〕(令和6年度)

1. 施設の名称等

施	設	名	称	長崎歴史文化博物館
月	斤 右	E ქ	也	長崎市立山1丁目1番1号

事 業 所 管|文化観光国際部|文化振興・世界遺産課 課 (室) 長名|園田 貴子

	基本戦略	3-2	地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る
総合計画上の位置づけ	施策	5	特色ある文化資源・スポーツによる地域活性化
	事 業 群	1	歴史や文化芸術による地域活性化

2. 施設の概要

設置年月日	平成 17 年 11 月 3 日
設置法令等	長崎歴史文化博物館条例(平成16年10月15日)
設置目的	長崎固有の海外交流の歴史を一覧でき、長崎学研究の拠点として「交流・連携・発見」の基本理念の もと、開かれた博物館として地域振興に寄与する。
利用対象者等	主な利用対象者:県民及び県外客 開館時間:午前8時30分~午後7時、休館日:毎月 第1月曜日 第3月曜日
施設内容	施設概要:博物館本館、長崎奉行所復元建物、復元長屋、屋外イベント広場 敷地面積13,852㎡、建築面積5,091㎡、延床面積12,239㎡ 収蔵品:約85,000点

〇常設展示観覧料

	一般	高校生	小中生	備考
普通観覧料金	630円	310円	310円	
団体観覧料金	500円	250円	250円	15名以上
長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館/孫文・梅屋 ミュージアム共通観覧チケット料金	700円	450円	330円	

- ※県内在住の小中学生については無料
- ※学校行事の一環として、県内小・中・高・特別支援学校が利用する場合は引率の教員を含め無料
- ※障害者手帳、特定医療費(指定難病)医療受給者証等の提示者及び介護者1名は無料
- ※当館の認定を受けた観光ボランティアの観光客を伴う入館は無料

〇貸館料金

施設の利用 料金体系

名	称	面積	料金					
小雨 目	展示室	300m²	19,140円/日					
正四方	大小王	215 m ²	13,720円/日					
ホ-	ール	178. 3m²	6,710円/回					
講座	至室	66. 2m²	630円/時間					
会訓	義室	50.6m²	520円/時間					
	広間1	17. 5 m ²	1, 150円/回					
	広間2	22. 1m²	1,360円/回					
イベントの間	次の間	7. 4m²	470円/回					
イベントの间	待合	14. 7m²	940円/回					
	小間	25. 4m²	4,710円/回					
	野点スペース	37 m ²	2,310円/回					
+ & == 10	뉴ᄉᄉᅼᄄᆠᆂᄺᄭᄆᄱ							

※入場料が有料の場合は、左記料金の倍額

1)※1日を9:00~13:00、13:00~17:00、 17:00~21:00の3つに区分し、それぞれ 1を1回とする。

〇博物館駐車場利用料

名称	種別	料金				
駐車場(一般)	昼間(8∶30~22∶00)	150円/30分				
	夜間(22:00~翌8:30)	840円/泊				
駐車場(バス)	昼間(8∶30~22∶00)	630円/30分				
は平场(ハヘ)	夜間(22:00~翌8:30)	2, 100円/泊				

類似施設の 設置状況

施設名		茨城県立歴史館	千葉県立房総のむら	かわら美術館・図書館
	一般	160円	300円	無料
入館料	大学生	80円	150円	無料
八郎介	高校生	無料	150円	無料
	小中生	無料	無料	無料
利用者数	(R5実績)	179,816人	157, 532人	119,937人
指定管理者	皆制度導入	平成23年4月1日	平成26年4月1日	平成20年10月1日
管理運営負担	金(R5実績)	401, 193千円	461200千円	179,048千円
延床	面積	8, 987 ㎡	8, 860 m ²	4, 669 m ²
指定管	理形態	管理+学芸部門	管理+学芸部門	管理+学芸部門

	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	(単位:千円)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)
	国庫	5, 000	2, 500	12, 577	0	
県	財の他(諸収入)	367, 293	364, 569	374, 576	363, 666	368, 597
	一般財源	589			1, 667	6, 598
予	事業費 <a>	372, 882	367, 069	387, 153	365, 333	375, 195
	内管理運営負担金	361, 703	362, 069	362, 000	362, 000	362, 000
算	訳 その他 (指定管理者支援等)	11, 179	5, 000	25, 153	3, 333	13, 195
	人件費 	35, 208	35, 055	34, 439	34, 466	36, 182
	合計 <c=a+b></c=a+b>	408, 090	402, 124	421, 592	399, 799	411, 377
	単位あたりコスト	3	2	2	2	1
(説	明) 「入館者1人あたりの運用費用」	=C÷(入館者	首数)			

3. 指定管理者の概要

化中华理夫	≪所在地≫	東京都港区台	計場2丁目3-4									
指定管理者 の名称等	≪名 称≫	株式会社 ブ	5村工藝社									
の石が守	≪代表者氏名≫	代表取締役	社長執行役	員 奥本	清孝							
指定期間	令和 4	年 4	月 1	□ ~	令和	10	年	3	月	31	日	
	②博物館の運営 ③博物館のマネ	①施設(設備)の維持・修繕等										
利用料金制	■ 導入済	未	導入	選定	方法	I (公募			7	非公募	

4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

	力	<u>~~~10 126 ~~</u>	ZE /% /\/\/\	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<u> </u>	. 栓貫寺の収文	. V\///U			
		博物館満足			(目標 ①年間平均·	植の根拠) 直で4.0以上の満		度実施における	変更点>	
	2	本展・移動 町数	人展や遠隔技	受業等の実施	の実施市町	動展や遠隔授業等 数(令和元年度ま				
成果指	3	博物館入館	官者数(参え	号値)	では新規で	実施した市町数)				
指		実	績		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
標				単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	
の		a 目標ſ	<u></u> 直	点	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0	
達 成	1	b 実績化		点	4. 0	3. 9	4. 6	4. 1		
以		c 達成 ^図	率b/a	%	100	97	115	102		
況		a 目標化	直	市町	5	4	4	4	4	
))L	2	b 実績(直	市町	10	10	8	8		
		c 達成 ²	率b∕a	%	200	250	200	200		
		a 目標化	直	人	_	-	_	_	_	
	3	b 実績(直	人	125, 635	167, 231	185, 565	212, 940		
		c 達成 ²	率b/a	%	_	_	_		_	
116										
雅		管理者の	事業計画		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
衧		支状況	(千円)	画(R5) 実績ー計画	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	
負		支状況 県負担金	(千円) 362, 000	実績一計画	(実績) 361, 703	(実績) 362, 069	(実績) 362,000	(実績) 362,000	(計画) 362,000	
負担	収	支状況 県負担金 その他	(千円) 362,000 600	実績-計画 0 3,341	(実績) 361, 703 496	(実績) 362, 069 609	(実績) 362,000 373	(実績) 362,000 3,941	(計画) 362,000 600	
負担金	収	支状況 県負担金 その他 入計a	(千円) 362,000 600 362,600	実績-計画 0 3,341 3,341	(実績) 361, 703 496 362, 199	(実績) 362, 069 609 362, 678	(実績) 362, 000 373 362, 373	(実績) 362,000 3,941 365,941	(計画) 362,000 600 362,600	
負担金事	収	支状況 県負担金 その他 入計a	(千円) 362,000 600 362,600 362,600	実績一計画 0 3,341 3,341 12,302	(実績) 361, 703 496 362, 199 362, 199	(実績) 362, 069 609 362, 678 362, 678	(実績) 362,000 373 362,373 355,431	(実績) 362,000 3,941 365,941 374,902	(計画) 362, 000 600 362, 600 362, 600	
負担金	収之支出	支状況 県負担金 その他 入計a 出b うち人件費	(千円) 362, 000 600 362, 600 362, 600 131, 026	実績一計画 0 3,341 3,341 12,302 3,099	(実績) 361, 703 496 362, 199 362, 199 134, 854	(実績) 362, 069 609 362, 678 362, 678 133, 488	(実績) 362, 000 373 362, 373 355, 431 128, 480	(実績) 362,000 3,941 365,941 374,902 134,125	(計画) 362,000 600 362,600 362,600 131,973	
負担金事業	収之支出	支状況 県負担金 その他 入計a 出b うち人件費 (支a-b	(千円) 362,000 600 362,600 362,600 131,026	実績一計画 0 3,341 3,341 12,302 3,099 △ 8,961	(実績) 361, 703 496 362, 199 362, 199 134, 854	(実績) 362, 069 609 362, 678 362, 678 133, 488	(実績) 362, 000 373 362, 373 355, 431 128, 480 6, 942	(実績) 362,000 3,941 365,941 374,902 134,125 △ 8,961	(計画) 362, 000 600 362, 600 362, 600 131, 973 0	
負担金事業	収之支出	支状況 県負担金 その他 入計a 助 うち人件費 であると 対用料金	(千円) 362,000 600 362,600 362,600 131,026 0 51,171	実績一計画 0 3,341 3,341 12,302 3,099 △ 8,961 6,113	(実績) 361, 703 496 362, 199 362, 199 134, 854 0 14, 296	(実績) 362, 069 609 362, 678 362, 678 133, 488 0 47, 173	(実績) 362,000 373 362,373 355,431 128,480 6,942 54,297	(実績) 362,000 3,941 365,941 374,902 134,125 △ 8,961 57,284	(計画) 362,000 600 362,600 362,600 131,973 0 36,952	
負担金事業	収支	支状況 県負担金 その他 入計a 対b うち人件費 (支a-b 利用料金 その他	(千円) 362,000 600 362,600 362,600 131,026 0 51,171 24,257	実績一計画 0 3,341 3,341 12,302 3,099 △ 8,961 6,113 15,328	(実績) 361, 703 496 362, 199 362, 199 134, 854 0 14, 296 26, 267	(実績) 362, 069 609 362, 678 362, 678 133, 488 0 47, 173 19, 143	(実績) 362,000 373 362,373 355,431 128,480 6,942 54,297 26,638	(実績) 362,000 3,941 365,941 374,902 134,125 △ 8,961 57,284 39,585	(計画) 362,000 600 362,600 362,600 131,973 0 36,952 35,988	
負担金事業との他	収支比収収収	支状況 県負担金 その他 入計a 対b うち人件費 支a-b 利用料金 その他 入計 c	(千円) 362,000 600 362,600 362,600 131,026 0 51,171 24,257 75,428	実績一計画 0 3,341 3,341 12,302 3,099 △ 8,961 6,113 15,328 21,441	(実績) 361, 703 496 362, 199 362, 199 134, 854 0 14, 296 26, 267 40, 563	(実績) 362, 069 609 362, 678 362, 678 133, 488 0 47, 173 19, 143 66, 316	(実績) 362, 000 373 362, 373 355, 431 128, 480 6, 942 54, 297 26, 638 80, 935	(実績) 362,000 3,941 365,941 374,902 134,125 △ 8,961 57,284 39,585 96,869	(計画) 362, 000 600 362, 600 362, 600 131, 973 0 36, 952 35, 988 72, 940	
負担金事業との他事	収支比収収収	支状況 県負担金 その他 入計a 対b うち人件費 支a-b 利用の他 入計 c	(千円) 362,000 600 362,600 362,600 131,026 0 51,171 24,257 75,428 73,547	実績一計画 0 3,341 3,341 12,302 3,099 △ 8,961 6,113 15,328 21,441 13,803	(実績) 361, 703 496 362, 199 362, 199 134, 854 0 14, 296 26, 267 40, 563 40, 408	(実績) 362, 069 609 362, 678 362, 678 133, 488 0 47, 173 19, 143 66, 316 63, 168	(実績) 362,000 373 362,373 355,431 128,480 6,942 54,297 26,638 80,935 67,960	(実績) 362,000 3,941 365,941 374,902 134,125 △ 8,961 57,284 39,585 96,869 87,350	(計画) 362, 000 600 362, 600 362, 600 131, 973 0 36, 952 35, 988 72, 940 69, 597	
負担金事業との他	収支に収支に	支状況 県負担金 その他 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	(千円) 362, 000 600 362, 600 362, 600 131, 026 0 51, 171 24, 257 75, 428 73, 547 22, 201	実績一計画	(実績) 361, 703 496 362, 199 362, 199 134, 854 0 14, 296 26, 267 40, 563 40, 408 19, 243	(実績) 362, 069 609 362, 678 362, 678 133, 488 0 47, 173 19, 143 66, 316 63, 168 19, 115	(実績) 362,000 373 362,373 355,431 128,480 6,942 54,297 26,638 80,935 67,960 19,552	(実績) 362,000 3,941 365,941 374,902 134,125 △8,961 57,284 39,585 96,869 87,350 27,144	(計画) 362, 000 600 362, 600 362, 600 131, 973 0 36, 952 35, 988 72, 940 69, 597 24, 332	
負担金事業との他事業	収支収支収支収	支状況 県負担金 その他 入計a 対 5 5 4 件費 を 1 0 5 5 4 件費 支 c - d	(千円) 362, 000 600 362, 600 362, 600 131, 026 0 51, 171 24, 257 75, 428 73, 547 22, 201 1, 881	実績一計画	(実績) 361, 703 496 362, 199 362, 199 134, 854 0 14, 296 26, 267 40, 563 40, 408 19, 243	(実績) 362, 069 609 362, 678 362, 678 133, 488 0 47, 173 19, 143 66, 316 63, 168 19, 115 3, 148	(実績) 362, 000 373 362, 373 355, 431 128, 480 6, 942 54, 297 26, 638 80, 935 67, 960 19, 552 12, 975	(実績) 362,000 3,941 365,941 374,902 134,125 △8,961 57,284 39,585 96,869 87,350 27,144	(計画) 362, 000 600 362, 600 362, 600 131, 973 0 36, 952 35, 988 72, 940 69, 597 24, 332 3, 343	
負担金事業との他事業	収支収支収支収	支状況 県負担金 その他 入計a 対 5 5 a - b を 1 2 支 a - b	(千円) 362, 000 600 362, 600 362, 600 131, 026 0 51, 171 24, 257 75, 428 73, 547 22, 201 1, 881 常勤 22	実績一計画	(実績) 361, 703 496 362, 199 362, 199 134, 854 0 14, 296 26, 267 40, 563 40, 408 19, 243 155	(実績) 362, 069 609 362, 678 362, 678 133, 488 0 47, 173 19, 143 66, 316 63, 168 19, 115 3, 148 常勤 22	(実績) 362, 000 373 362, 373 355, 431 128, 480 6, 942 54, 297 26, 638 80, 935 67, 960 19, 552 12, 975	(実績) 362,000 3,941 365,941 374,902 134,125 △ 8,961 57,284 39,585 96,869 87,350 27,144 9,519	(計画) 362, 000 600 362, 600 362, 600 131, 973 0 36, 952 35, 988 72, 940 69, 597 24, 332 3, 343 常勤 22	
負担金事業との他事業と配	収	支状況 県全 長さ 県での他 大計 a は 5 a - b 大計 a 大計 の は 大計 の は 大 の は 、 の は 大 の は も と	(千円) 362,000 600 362,600 362,600 131,026 0 51,171 24,257 75,428 73,547 22,201 1,881 常勤 22 非常勤 3	実績一計画 0 3,341 12,302 3,099 △8,961 6,113 15,328 21,441 13,803 4,943 7,638 0 0	(実績) 361, 703 496 362, 199 362, 199 134, 854 0 14, 296 26, 267 40, 563 40, 408 19, 243 155	(実績) 362, 069 362, 678 362, 678 133, 488 0 47, 173 19, 143 66, 316 63, 168 19, 115 3, 148 常勤 22 非常勤 3	(実績) 362, 000 373 362, 373 355, 431 128, 480 6, 942 54, 297 26, 638 80, 935 67, 960 19, 552 12, 975	(実績) 362,000 3,941 365,941 374,902 134,125 △ 8,961 57,284 39,585 96,869 87,350 27,144 9,519	(計画) 362, 000 600 362, 600 362, 600 131, 973 0 36, 952 35, 988 72, 940 69, 597 24, 332 3, 343	

5. 令和5年度事業の実施状況・実績の検証 実 績 〈指定管理者実施分〉 〈指定管理者実施分〉 1. 負担金事業 1. 負担金事業 ①光熱水費、施設維持管理事業 ①施設設備の保守点検、清掃、警備、樹木管理、修繕業 務、受付案内等については、滞りなく実施できた。 ②長崎学·生涯学習支援事業 ②歴史資料を活用した文献センターとして、レファレンス サービス等を通じた利用者サービスを提供できた。 県民の生涯学習を支援するため、れきぶん長崎学講座、 長崎学エキスパート講座、文化財セミナー、れきぶんワー クショップ、学校向けプログラム、遠隔授業、移動博物 館、古文書修復技術講習会、古文書講座を実施した。 伝統工芸体験工房においては、長崎市の育成する5塾と 連携し、「銀細工」、「長崎刺繍」、「ステンドグラス」、「陶芸/現川焼」、「染」と貸工房「べっ甲」「佐世保独楽」「陶彩」等による制作実演を行うとともに、利 用者にも制作体験を提供した。 ③調査研究事業 ③長崎の歴史文化に関する情報の調査計画の立案、博物館 資料の現状把握に基づく記録の作成及び修理、調査報告に 基づく講座、講演への展開計画の検討、調査成果のデータ ベース化の推進と公開、他博物館や他研究機関との連携推 進等について、協定書に基づき進められた。 4)資料修復事業 ④美術工芸資料7件(33点)及び古文書63点の資料修復を 計画的に実施した。 2. 利用料金事業 2. 利用料金事業 ①常設展示事業 ①常設展は歴史文化展示ゾーンと長崎奉行所ゾーンで毎月 展示替えを行い、季節やテーマに沿った資料展示(特集展 示6回、トピック展示7回計13回)を行い、常設展入館者 数は65.897人となった。 ②企画展は、幅広く集客が見込めるものとして「肉筆浮世 ②展覧会・企画展事業 理 絵の世界展」「町田尚子絵本原画展」「東洋文庫展」、長 運 崎の歴史文化に関するものとして「シーボルト来日200周 営 年記念大シーボルト展」を実施したが、入場者数は目標の の 55.2%となった。 状 況 ③駐車場運営事業 ③駐車場運営事業収入5,808千円、支出40千円であり、利 益を確保するとともに、滞りない駐車場運営を行った。 ④施設等貸し出し事業 ④貸館については、ホール・講座室・会議室の貸出を343件 実施した。資料の貸出についても適切な管理を行いなが ら、画像471件、資料6件の貸出を実施した。 3. その他自主事業 3 その他自主事業 ①ボランティア活用等事業 ①年間を通じ、展示案内・外国語・教育普及・広報・保存 環境の各ボランティア活動を実施した。また、寸劇ボラン ティアは毎週日曜日に各4回の公演を実施するなど、ボラ ンティアの参画を推進した。 ②ミュージアムショップ、飲食施設事業 ② "長崎らしさ"にこだわったミュージアムショップの運 営と「おもてなし」の場としてレストランを経営し、来館 者に安らぎを提供するとともに、企画展関連グッズの販売 や、オリジナルグッズの開発など利用者のニーズに即した 運営を行った。 <県実施分> 〈県実施分〉 ①博物館の管理運営に関する打合せ ①博物館の管理運営に関する定例会を実施 ②博物館が主催する企画展・イベント等の広報協力 ②県広報媒体により、博物館が主催する企画展・イベント ③施設改修・修繕(小規模修繕除く)、備品購入 等の広報協力 ③施設改修・修繕(小規模修繕除く)、備品購入

〇管理運営業務は協定書に基づき実施されており、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行され、企画展・イベント等は予定通りすべて実施できた。この結果、年間総入館者数は、212,940人となり、令和2年度の125,635人、令和3年度の167,231人、令和4年度の185,565人を上回り回復傾向にある。

〇ボランティアによる奉行所寸劇、長崎学に関する各種講座・講演会、家族づれ・子供向けのワークショップ等の企画を展開し、あらゆる年代からの集客を図った。

〇博物館満足度アンケート結果について、4.1と目標を達成した。定期的な展示替え、大型3面スクリーンの歴史映像 をリニューアル、常設展示の多言語化を実施していることなどが要因として考えられる。

収支計画・実績

<指定管理者実施分>

(単位:千円)

È	€な項目	計画	実績	増減理由・収支改善の取り組み等
収入	а	438, 028	462, 810	
	うち負担金事業	362, 600	365, 941	
	うち利用料金事業	75, 428	96, 869	入館者の増加による観覧料、ショップ・飲食店売上の増
支出	b	436, 147	,	
	うち負担金事業	362, 600	,	光熱費・人件費の増
	うち利用料金事業	73, 547	87, 350	入館者の増加による経費の増
Ц	区支a−b	1, 881	558	

<県実施分>

施設改修・修繕等 93,587千円 (映像制作・多言語化含む)

備品購入 1.197千円

検 証

〇民間企業(株式会社乃村工藝社)を指定管理者としたことにより、県と連携して民間の企画や運営手法、経営感覚 を取り入れた運営がなされている。

○負担金対象事業と利用料金対象事業を明確に区分することで、公立博物館としての質を保ちつつ、本県の文化レベルを向上し、来館者にも魅力ある館となるような運営が行われている。

〇令和5年度の負担金事業において、指定管理者等支援負担金により光熱費の高騰による支出増に対する補填が行われたものの、欠員補充による管理運営人件費の増、施設設備保守点検業務の委託費用の増などにより、支出超過となった。利用料金事業においては入館者数が増加したことに伴い経費が増加したものの、観覧料及びショップ・売店の売り上げが想定以上に増加し、収入超過となった。

指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価

Α

(説明)

〇生涯学習、教育普及事業では、学校向けの出張事業や遠隔事業・移動博物館の実施など、幅広い年齢層へ学習の機会を 提供した(出張授業16校(6市町)、遠隔授業3校(2市町)、移動博物館6施設(5市町))

〇博物館は「ミュージアム県・ながさき」の中核施設として、歴史・文化の魅力を発信し続けながらも、展覧会や教育普 及活動の多彩な実践を通じて、新たな利用層の開拓を図った。

〇総入館者数は、212,940人であり、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にある。

〇職員・ボランティアの研修等によって、利用者へのサービス向上を図るとともに、館の機能強化(多言語化、大型三面スクリーン映像の制作等)を実施したことで、利用者へのアンケートによる満足度調査では、5段階評価で4.1と目標を達成した。

〇観覧料収入、ミュージアムショップ収入、飲食施設収入は計画と比較して増収となった。

<u>6.令和6年度事業の実施にあたり見直した内容</u>

容

〇運営方法のさらなる効率化に努め、経営の安定及び地域活性化を引き続き図っていく。

〇県内の小中学校の教員を対象とした研修会を実施し、博物館の効果的な利用方法について理解を深めるなど、市町の学 校関係者等への働きかけを行い、引き続き移動展や遠隔授業等を活用する市町を増やす。

〇総入館者数は回復傾向ではあるものの、コロナ禍以前の令和元年度の入館者数の約6割程度の入館者数であるため、WEB アンケートも導入し館運営にフィードバックしていく。また、修学旅行誘致、クルーズ船客の誘致など営業活動に注力す る。

収支の状況

 7. 令和6年度事業の評価
 ※評価区分(a:行われている、b:一部行われていない、c:行われていない)

	<u> </u>	※評価区分	`(a:行われている、b:一部行われていない、c:行われていない)
	視点	評価	判定理由
	・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。	а	・常設展示室、特集展示室、工芸展示室、奉行所関連展示室、 キリシタン関連資料展示において、定期的な展示替えを行な う。さらに生涯学習支援事業や調査研究事業等を県内の学校や 博物館と連携して実施するなど、基本方針に沿った運営を実施 する。
	・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。	а	・遠隔地等で来館が困難な方々に対して、博物館の展示活動を通して長崎の歴史・文化に興味を深めていただくため、県内で 移動博物館や遠隔授業・出張授業の実施を予定している。
指定管理者の	・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。	а	・入館者アンケート調査によって、利用者の満足度を把握するとともに利用者の声を館の運営に活かすことで、サービスの向上を図っている。より広く入館者の意見を収集するため、従来の紙のアンケートに加え、WEBアンケート(日本語・英語)を実施する。
行う管理運	・施設・設備の維持管理は適切に行われているか。	а	・施設設備の保守点検、清掃等の実施については、協定書に基づき適切な管理が行われ、施設の機能は適正に維持されている。
営等に関する	・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。	а	・博物館のイメージアップや利用者の年齢層を幅広くするために積極的にSNSや各種広報媒体で発信するなど、利用者数の増加に繋がる工夫とともに、ミュージアムショップやレストランでのオリジナル商品の開発を行う。
評価	・経費節減に向けた取り組みが行われているか。	а	・電気料金の契約見直し等による光熱水費の節減、ミュージアムネットワークリニューアルに伴う通信契約の整理を行い通信費の節減に取り組む。
I	(その他の観点)	•	

(その他の観点)

	視点		評価	理由
施設の在り方についての評価	必要性	・県民ニーズに照らして、事業 の必要性が薄れていないか。	■ a. 薄れていない b. 一部薄れている	入館者のうち、約60%が県民であること、長崎 学及び長崎の歴史文化の研究拠点であることか ら必要性は十分にある。
			c. 薄れている	
		・事業を取りまく環境、経済情 勢などの変化に適応している	■ a. 適応している b. 一部適応していない	長崎県内及び長崎市内の観光施設、地域活性化 の核となり、文化を活かしたまちづくりの拠点
		か。	c. 適応していない	となっている。
		・市町または民間に移管・移譲することが適当(可能)ではな	■ a. 適当(可能)でない	県と長崎市が連携して政策的に設置した博物館 で、県内の博物館の拠点施設であるため、市に
		いか。	b. 一部適当(可能)でない	移譲すると県全体の施策の実施が不可能となり、民間移譲した場合は文化事業の継続性が保
			c. 適当(可能)である	持できない恐れがある。
	効率性	・県の負担や業務量に見合った 活動結果が得られているか。	a. 得られている	入館者数は令和元年度の約6割程度となってい るものの、展示の内容、施設維持管理、研究・
			■ b. 一部得られているc. 得られていない	普及事業については十分な活動の成果が得られている。
		・指定管理者制度以外で、同一 の県負担や業務量でより大きな	a. 代えられない	直営は人件費を中心に県負担が大幅に増加する ため困難だが、他の制度も含め指定管理者制度
		活動結果が得られる手法に代えられないか。	■ b. 一部代えられない	との比較検討を行う余地はある。
			c. 代えられる	
	有効性	・指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手	■ a. なっている	民間のノウハウを生かした事業運営に努め、年 間総入館者数は回復傾向である。また、適正な
		法となっているか。	b. 一部なっていない	施設管理、教育普及活動の実施など、設置目的 の達成に十分寄与している。
			c. なっていない	
		・事業効果をさらに上げる余地はないか。	a. 余地はない	魅力ある企画展の開催により企画展とあわせて 常設展への入館者数もさらに増加させるため
			■ b. 一部余地がある	に、事業内容及び広報・マーケティング活動を
			c. 余地がある	充実させる必要がある。
	(7	その他の観点)		

8. 令和7年度事業の実施に向けた方向性

区 分 現状維持 ■ 改善 移管 廃止

(説明:令和7年度事業の実施に向けた方向性の理由・見直しの内容)

〇これまで蓄積した運営のノウハウを駆使し、利用者の高い満足度を維持しながら長崎の歴史文化・芸術を身近に学ぶ交 流拠点施設、本県の歴史資源による地域活性化や県外への魅力発信の拠点として最大限活用する。また、県の中核館とし ての機能充実のため、県内全域における歴史文化・芸術に触れる機会の提供に取り組むことを目的として、県内各地で移 動展や遠隔・出張授業等を実施していく。

〇引き続き、長崎市、指定管理者と連携し、県内外からの積極的な誘客活動や広報活動に取り組むとともに、長崎学の拠 点として、調査研究活動の促進を図っていく。特に誘客活動については、新型コロナウイルス感染症発生前の総入館者数 等を目標として積極的に取り組んでいく。

〇建設から18年以上を経過し、施設の劣化に伴う不具合が発生しており、維持管理費の増加が予想されるため、今後も事務的経費の削減に努めるとともに、大規模修繕が必要となる前に、毎日の点検及び早期修繕にしっかりと取り組んでい く

〇開館20周年かつながさきピース文化祭2025の開催年である令和7年度において、魅力的で充実した内容の企画展を開催 する。